

前線に伴う降雨による防災情報(第5報)

新庄河川事務所では、7月24日9時00分に災害対策支部(警戒体制・砂防)を設置し警戒にあたっておりますが、**鮭川流域の小又雨量観測所において降り始めからの雨量が80mmを超過しました。**

今後、天候の状況を見て赤川流域、立谷沢川流域、角川流域及び鮭川流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

7月23日(木)17時00分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

7月24日(金)9時00分 災害対策支部(警戒体制・砂防)に移行

2. 砂防情報(7月25日5時50分現在)

[赤川流域]

ますがた

枅形雨量観測所 連続雨量 3mm(小康状態) [連続最大雨量 179mm]

さらぶち

皿淵雨量観測所 連続雨量 3mm(小康状態) [連続最大雨量 131mm]

そのおか

蘇岡雨量観測所 連続雨量 2mm(小康状態) [連続最大雨量 105mm]

[立谷沢川流域]

がっさん

月山雨量観測所 連続雨量 5mm(小康状態) [連続最大雨量 90mm]

はぐろさん

羽黒山雨量観測所 連続雨量 4mm(小康状態) [連続最大雨量 85mm]

[角川流域]

しばくらやま

柴倉山雨量観測所 連続雨量 82mm(降雨継続中)

[鮭川流域]

こまた

小又雨量観測所 連続雨量 80mm(降雨継続中)

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害の恐れがある場合

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

副所長(砂防) 佐藤 勝美(内線205)

調査課長 田村 公仁(内線351)

雨量観測所位置図(砂防)

赤字:連続雨量が80mmを超過した雨量観測所

囲み:連続雨量が120mmを超過した雨量観測所

または時間雨量が40mmを超過した雨量観測所

